

平成 29 年度事業計画について

平成 29 年度は、策定中の中長期計画に沿って各種事業を着実に実施するとともに、協会広報の充実により、国際花と緑の博覧会（以下「花の万博」という。）の理念「自然と人間との共生」の一層の継承・発展を図る。

具体的には、25 周年の節目を迎えるコスモス国際賞にふさわしい事業を実施し、助成・協働事業、次世代を担う青少年を対象とした事業の充実を図っていく。

なお、経済状況が厳しい中、限られた財源ではあるが、選択と集中、創意工夫するとともに、特定費用準備資金制度を活用して、予算の平準化に努める。

1. 顕彰事業

(1) コスモス国際賞

花の万博の「自然と人間との共生」という理念に合致する研究活動や業績を顕彰する 2017 年のコスモス国際賞は、第 25 回目の節目となるため、皇太子のご臨席も視野に入れ、記念すべき授賞式を目指す。また、第 26 回目となる 2018 年コスモス国際賞の準備を進めていく。

(2) B I E コスモス賞

博覧会国際事務局 (BIE) が実施し、当協会が協力する「BIE コスモス賞」については、2017 年のカザフスタンのアスタナ万博で実施するとともに、過去 5 回の検証を行う。

(3) 全国花のまちづくりコンクール

花の万博を契機に、「花とみどりの国づくり及びまちづくり」（提唱：農林水産省及び国土交通省）を目的として創設された「花のまちづくりコンクール」については、推進協議会に参画し、実施する。

2. 助成・協働事業

(1) 調査研究、行催事等助成事業

花の万博理念の継承発展及び普及啓発に資する「調査研究開発」並びに「活動・行催事」を支援するため、全国公募による助成事業を実施する。

(2) 花とみどりの復興活動支援助成事業

東日本大震災の被災地において復興支援の活動を行う団体に対する助成については、引き続き寄付金を充当し実施する。

(3) 地域協働事業

地方公共団体・企業・ボランティア・住民等と協働し、緑化や花植え等の事業を実施してきたが、平成28年度は休止していた「歴史の道みどりの拠点づくり」については単年度から2か年度にわたる事業に見直し再スタートする。

「子どもたちと育てる花とみどりによるコミュニティづくり」については、事業を取りやめ、実績の周知を図るため、報告書を作成する。学校における花づくり等は、調査研究・行催事等助成事業にて対応する。また、助成事業成果発表会については、緑の交流広場と統合し「花と緑の交流広場」として実施する。

3. 普及啓発事業及び国際交流事業

(1) 次世代育成事業

協会事業に関係する学者、知識人等を講師として小学校へ派遣する「小学校講師派遣事業」及び、山野で生き物に触れあう「自然観察教室」については他の教育施設と協力して実施するとともに、毎日新聞社との共催による「小・中学校生態園づくり」を実施する。

また、幼・保育園児に自然に親しむ機会を提供する「昆虫クエスト大作戦」を引き続き実施する。

(2) 花育推進事業

花や緑を児童教育等の中に取り入れることを目的とした「花育活動」の推進のため、花育推進セミナー・交流会、花育ワークショップの開催等を支援する。

(3) 都市緑化推進運動等への協力事業

都市公園の整備、民有地の緑化により都市における豊かな生活環境の実現を目的とする「都市緑化推進運動」、及び住民参画のもと創意・工夫を生かしたまちづくり推進を目的に実施される「まちづくり月間」に協力する。

(4) 普及啓発事業

花の万博開催の地元である大阪で開催される「大阪都市緑化フェア」や「はならんまん」などの普及啓発イベントに協力するとともに、みどりのまちづくりに貢献する美しい景観となっている建物や緑化活動を表彰する「みどりのまちづくり賞」に参画・実施する。

また、高校生や一般を対象とした「コスモス国際賞受賞記念講演会」を東京、大阪で開催する他、コスモス国際賞25周年にふさわしい事業を実施する。

(5) 国際交流事業

1869 年以来数度、国際園芸博覧会が開催されているドイツ・ハンブルク市にて桜を植樹する事業に協力し、花の万博の理念の普及啓発に資するほか、高校生を対象に海外の自然に触れさせ現地の高校生との交流を図る機会を作るために、平成 28 年度から新規事業として始めた台湾での海外青少年交流事業「高校生のための生き物調査体験ツアー in 台湾」を継続実施する。

4. 調査研究・資料収集事業

(1) 生物多様性等に関する調査

花の万博の理念継承に資する生物多様性の保全や、動植物の生息地や保存等に関する情報収集等を行うとともに専門家の意見を踏まえて平成 28 年度に作成した小冊子「日本固有植物に学ぶ 自然のしくみと共生の知恵」を活用して、中学生・高校生などを対象としたフォーラム等を開催し、成果を広く発信していく。

(2) 里山等における共生に関する調査

過年度に行った「地域特有の花と緑に関わる伝統的文化に関する文献調査や事例調査」や、「第 1 回アジア生物文化多様性国際会議」への参加の成果を踏まえ、平成 29 年度は、造園学会等と共催で公開研究会を実施し、里山における共生の在り方を検討する。

平成29年度収支予算書（損益計算方式）

平成29年4月1日 から 平成30年3月31日 まで

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | | | | |
| 基本財産受取利息 | 8,400,000 | 9,640,000 | △1,240,000 | |
| 特定資産運用益 | | | | |
| 記念基金受取利息 | 237,600,000 | 250,360,000 | △12,760,000 | |
| 受取寄付金 | | | | |
| 受取寄付金振替額 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | |
| 経常収益計 | 249,000,000 | 263,000,000 | △14,000,000 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | 199,760,100 | 204,061,250 | △4,301,150 | |
| 役員報酬 | 7,980,000 | 7,980,000 | 0 | |
| 給与手当 | 40,095,000 | 38,648,400 | 1,446,600 | |
| 法定福利費 | 8,000,000 | 7,593,600 | 406,400 | |
| 退職給付費用 | 1,220,800 | 1,540,000 | △319,200 | |
| 賃金 | 33,600 | 1,916,600 | △1,883,000 | |
| 職員厚生費 | 296,800 | 418,550 | △121,750 | |
| 会議費 | 2,155,300 | 2,012,500 | 142,800 | |
| 旅費交通費 | 10,966,340 | 10,180,800 | 785,540 | |
| 通信運搬費 | 2,815,260 | 2,703,400 | 111,860 | |
| 広告費 | 1,050,000 | 1,050,000 | 0 | |
| 消耗什器備品費 | 70,000 | 70,000 | 0 | |
| 委託費 | 25,319,000 | 24,146,500 | 1,172,500 | |
| 消耗品費 | 1,459,500 | 1,637,300 | △177,800 | |
| 修繕費 | 1,208,200 | 1,178,800 | 29,400 | |
| 印刷製本費 | 2,583,000 | 4,242,000 | △1,659,000 | |
| 光熱水料費 | 2,772,000 | 2,562,000 | 210,000 | |
| 役務費 | 0 | 1,225,000 | △1,225,000 | |
| 賃借料 | 4,656,400 | 6,220,900 | △1,564,500 | |
| 使用料 | 2,722,300 | 2,890,300 | △168,000 | |
| 諸謝金 | 6,674,500 | 6,893,600 | △219,100 | |
| 負担金・会費 | 16,535,000 | 20,635,000 | △4,100,000 | |
| 助成金支出 | 17,000,000 | 17,000,000 | 0 | |
| 租税公課 | 43,400 | 39,900 | 3,500 | |
| 手数料 | 602,000 | 732,200 | △130,200 | |
| 賞金支出 | 42,500,000 | 40,000,000 | 2,500,000 | |
| 保険料 | 203,000 | 161,000 | 42,000 | |
| 雑費 | 798,700 | 382,900 | 415,800 | |

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|---------------|----------------|----------------|-------------|-----|
| 管理費 | 70,009,900 | 75,938,750 | △5,928,850 | |
| 役員報酬 | 3,420,000 | 3,420,000 | 0 | |
| 給与手当 | 31,075,000 | 34,123,600 | △3,048,600 | |
| 法定福利費 | 5,730,000 | 6,434,400 | △704,400 | |
| 退職給付費用 | 959,200 | 1,260,000 | △300,800 | |
| 賃金 | 14,400 | 821,400 | △807,000 | |
| 職員厚生費 | 233,200 | 342,450 | △109,250 | |
| 会議費 | 923,700 | 862,500 | 61,200 | |
| 旅費交通費 | 4,699,860 | 4,363,200 | 336,660 | |
| 通信運搬費 | 1,206,540 | 1,158,600 | 47,940 | |
| 広告費 | 450,000 | 450,000 | 0 | |
| 消耗什器備品費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 委託費 | 10,851,000 | 10,348,500 | 502,500 | |
| 消耗品費 | 625,500 | 701,700 | △76,200 | |
| 修繕費 | 517,800 | 505,200 | 12,600 | |
| 印刷製本費 | 1,107,000 | 1,818,000 | △711,000 | |
| 光熱水料費 | 1,188,000 | 1,098,000 | 90,000 | |
| 役務費 | 0 | 525,000 | △525,000 | |
| 賃借料 | 1,995,600 | 2,666,100 | △670,500 | |
| 使用料 | 1,166,700 | 1,238,700 | △72,000 | |
| 諸謝金 | 2,860,500 | 2,954,400 | △93,900 | |
| 負担金・会費 | 250,000 | 253,000 | △3,000 | |
| 租税公課 | 18,600 | 17,100 | 1,500 | |
| 手数料 | 258,000 | 313,800 | △55,800 | |
| 保険料 | 87,000 | 69,000 | 18,000 | |
| 雑費 | 342,300 | 164,100 | 178,200 | |
| 經常費用計 | 269,770,000 | 280,000,000 | △10,230,000 | |
| 当期經常増減額 | △20,770,000 | △17,000,000 | △3,770,000 | |
| 2. 經常外増減の部 | | | | |
| (1) 經常外収益 | | | | |
| 經常外収益計 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 經常外費用 | | | | |
| 經常外費用計 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期經常外増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △20,770,000 | △17,000,000 | △3,770,000 | |
| 一般正味財産期首残高 | 160,112,897 | 177,112,897 | △17,000,000 | |
| 一般正味財産期末残高 | 139,342,897 | 160,112,897 | △20,770,000 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 受取寄付金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | |
| 一般正味財産への振替額 | △3,000,000 | △3,000,000 | 0 | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期首残高 | 10,048,944,100 | 10,048,944,100 | 0 | |
| 指定正味財産期末残高 | 10,048,944,100 | 10,048,944,100 | 0 | |
| III 正味財産期末残高 | 10,188,286,997 | 10,209,056,997 | △20,770,000 | |

平成 29 年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(自：平成 29 年 4 月 1 日 至：平成 30 年 3 月 31 日)

1. 資金調達の見込みについて

- ・当年度における借り入れの予定 … なし

2. 設備投資の見込みについて

- ・当年度における重要な設備投資(除却又は売却を含む)の予定
… なし